

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和5年12月22日
九州地方整備局
長崎河川国道事務所

国道497号 西九州自動車道 ^{まつうら さざ}松浦佐々道路(^{まつうら}松浦IC ~ ^{ひらど}平戸IC間)が
令和7年度に開通します

○国道497号^{まつうら さざ}松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成する路線で、九州北西部の広域的な連携を図り地域の活性化に大きく寄与すること等を目的とした道路です。

○この度、松浦1号トンネル（仮称）が貫通することとなり、残る工事工程を精査した結果、令和7年度に開通する見通しとなりましたので、お知らせします。

○引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

○松浦佐々道路の整備による主な効果

- ①防災機能の強化により災害時のネットワークを確保
- ②新たな企業立地や雇用の創出を支援

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

技術副所長 ^{こだま ゆういち}児玉 祐一

計画課長 ^{こやなぎ まこと}小柳 誠

TEL：095-839-9211（代表）

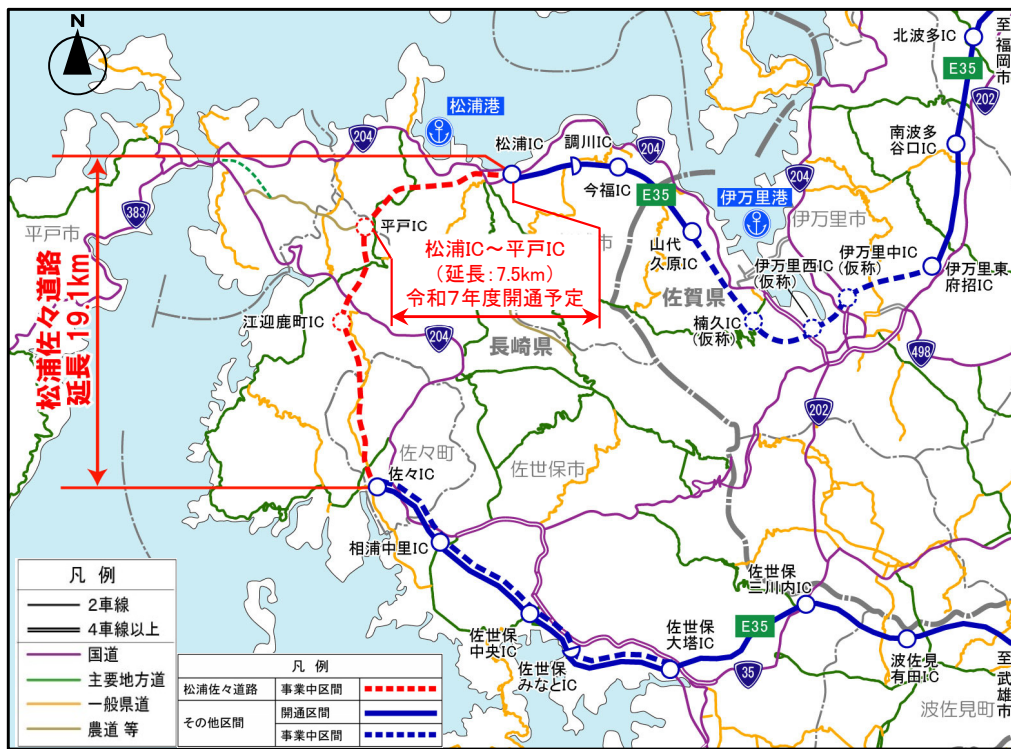
URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

まつうら さぎ 松浦佐々道路 位置図

<松浦佐々道路位置図>



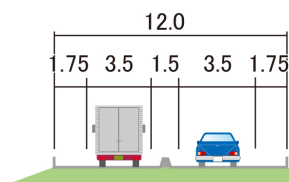
<路線概要図>



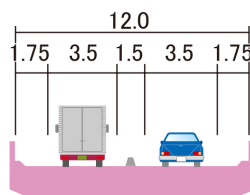
<標準断面図>

(単位 m)

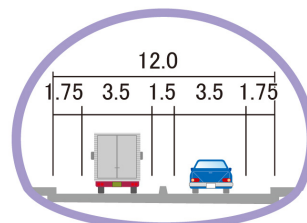
【土工部】



【橋梁部】

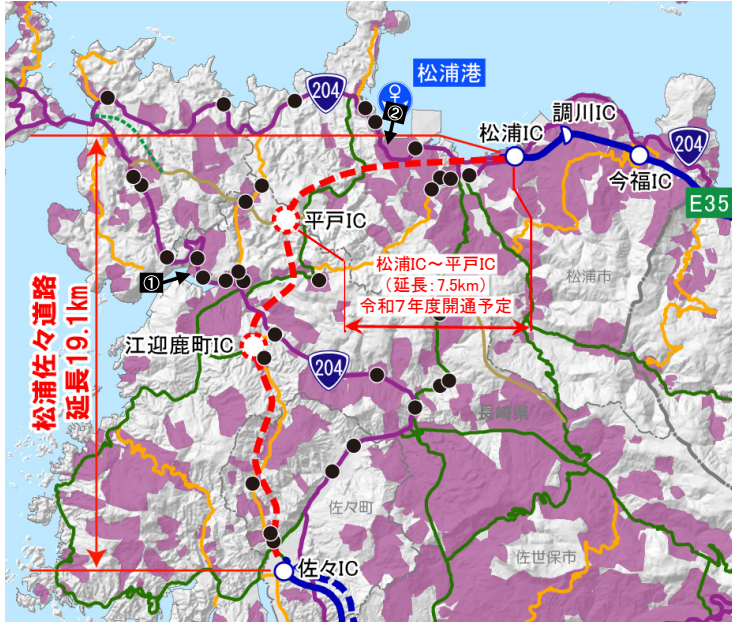


【トンネル部】



効果1. 防災機能の強化により災害時のネットワークを確保

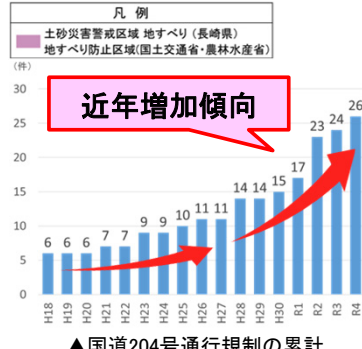
- 長崎県北部の松浦佐々道路沿線地域は、土砂災害警戒区域及び地すべり防止区域が広範囲に点在しており、土砂災害等による通行規制が発生しています。
- 松浦佐々道路は、災害リスクを回避する確実な幹線道路としての役割を発揮し、日常生活の安全・安心や災害時の避難や支援といった防災機能の強化が期待されます。



凡例		写真撮影箇所及び撮影方向	
—	2車線	📷	撮影方向
—	4車線以上	●	土砂・落石・災害発生箇所 (H18~R4)
凡例			
—	松浦佐々道路	—	事業中間区間
—	開通区間	—	事業中間区間
—	その他区間	—	事業中間区間



写真① 冠水した国道204号を走行する車両 (国道204号、佐世保市江迎町、R5.9.15)



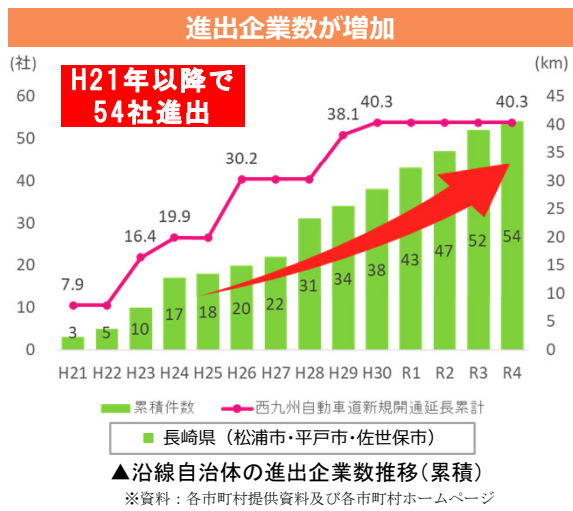
写真② 法面崩落の状況 (国道204号、松浦市御厨町、R5.9.15)

※資料 ▲通行規制を伴う災害発生箇所と地すべり危険箇所
 災害発生箇所：長崎県資料 (対象期間：平成18年度～令和4年度)
 国土数値情報 土砂災害警戒区域データ (地すべり) (令和4年度)、国土数値情報 地すべり防止区域データ (令和3年度)
 陰影起伏図：国土地理院

※資料 ▲国道204号通行規制の累計
 ※資料：長崎県資料 (対象期間：平成18年度～令和4年度)

効果2. 新たな企業立地や雇用の創出を支援

- 長崎県北部の西九州自動車道沿線地域において、企業立地や工業団地の造成などが進展しており、新たに造成された平戸市工業団地が分譲開始2年で完売しています。
- 周辺市町へのアクセス向上で新たな企業立地や雇用創出など、地域産業活性化が期待されます。



西九州道の整備によって物流や流通の面では多大な効果があると思っており、近隣に高速道路ができる事への期待感が大きい。
 (R4 平戸市内進出企業ヒアリング)

平戸市内の工業団地は既に完売したが、新たな工業団地を調査している。西九州道の整備に合わせて製造業を中心にセールスを進めており、平戸にまで到達すれば企業誘致の後押しになる。
 (R4 平戸市商工物産課ヒアリング)

※資料：長崎河川国道事務所調査 (R4)
 調査方法：道路整備による企業立地への対応についてヒアリング
 調査対象：西九州道沿線の企業・自治体